

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 2月 24日

出願番号 Application Number: 特願 2003-096556

[ST. 10/C]: [JP 2003-096556]

出願人 Applicant(s): 中村 辰三

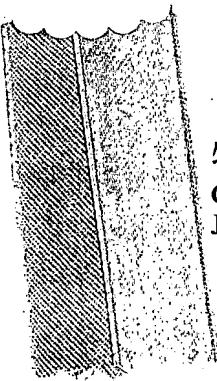
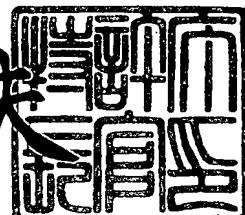
CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT



2004年 4月 30日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康夫



【書類名】 特許願
【整理番号】
【提出日】 平成15年 2月24日
【あて先】 特許長官 太田信一郎 殿
【発明の名称】 ツボ刺激による治療用機器
【発明者】
【住所又は居所】 兵庫県西宮市高木西町14-19
【氏名】 中村 辰三
【フリガナ】 ナカムラ タツゾウ
【特許出願人】
【住所又は居所】 兵庫県西宮市高木西町14-19
【氏名又は名称】 中村 辰三
【フリガナ】 ナカムラ タツゾウ
【電話番号】 (0798)64-9399
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ツボ刺激による治療用機器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 身体の疾患の治療に関連した身体表面上の3箇所以上の複数部位に対し、複数の電気回路に取りつけられた端子により、同時に電気的及び機械的刺激を与える事のできる特殊電極による治療用機器。

【請求項 2】 人体の疾患の治療に関連した身体表面上の複数の部位とは、東洋医学における経穴及び／又は物理的刺激に対して特異な反応を示す部位からなる特許請求の範囲第1項記載の治療用機器。

【請求項 3】 電気的刺激とは、全ての刺激点を結んだ電気回路の周波数領域が低周波領域から高周波領域を包含する特許請求の範囲第1項記載の治療用機器。

【請求項 4】 身体との接触面が凸面を形成している導電性を持った成型体が端子を形成する電極とホック構造で結合されている特許請求の範囲第1項記載の治療用機器。

【請求項 5】 電気回路及び同電気回路に設けられた端子が身体に装着するバンド、サポーター又はボディースーツに取りつけられた構造を持つ特許請求の範囲第1項記載の治療用機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、人体の異常な症状を改善する効果のある理学療法の機器と使用法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

身体の各種疾患、症状の改善に対し、電気、磁気、熱、音波等の刺激、又は押圧、牽引、矯正等の機械的な力を加える等の治療法が行われている。しかし治療法のいずれも身体の局所的部位に行われており、又治療の対象部位が不充分であることにより、効果果的な治療につながっていなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

- 効果のある治療法とこれを可能にする治療用機器が望まれているが、現在この期待を満たす治療装置は未だ充分ではない。。本発明はこの問題点の解決にある。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本発明者は種々検討を重ねた結果、疾患の治療には、症状改善に関係のあるより広い身体の3箇所以上の適切な部位に対し、同時に治療行為を行う事が必要であることを見い出した。本発明に言う身体の適切な部位とは、東洋医学で言われている「経穴」を示しており、以後「ツボ」と呼称する。

【0005】

即ち身体に装着するバンド、サポーター及びボディースーツ等に「請求項4」の構造を持った電極を3ヶ以上設け、それら電極を通して治療に必要な「ツボ」に電気的刺激及び押圧作用を与える事により優れた治療が得られるを見い出し本発明を完成した。本発明でいう端子を形成する成型体とは、導電性を持ち人体との接触面が凸状の成型体（図1）で、電極はホック構造で脱着可能な構造（図1）になっている。又各電極は電線により結ばれ（図2-1）、又は通電板により連結されており（図2-2）、バンド、サポーター及びボディースーツを装着時治療に必要な「ツボ」の位置に合致するよう工夫されている。端子を形成する成型体は炭素入りのゴム又はプラスチック、及び架橋水性アクリル樹脂、金属が多くの形状に成型可能であり好ましいが、身体との接触面が一部位に対し1ヶ又は複数の突起による凸面を形成し、且つ導電性を持つ成型体であればその組成、構造に限定の必要はない。

【0006】

電気回路の周波数としては、症状に応じ1～数万ヘルツの範囲で選択可能である。電源の電圧としては、症状と周波数との関連で数ボルト～数100ボルトの範囲で選択可能である。

【0007】**【発明の実施の形態】**

以下発明の実施の形態を実施例にもとづき図面を参照して説明する。

【0008】**【実施例－1】**

(図3)に示す位置に配置された複数の電極を組み込んだヘヤバンドを作成した。前頭部にある左右の電極の各1ヶは左右の瞳子線上に位置するよう工夫されている。9ボルト、15ヘルツの条件で低周波を15分間付加した。眼精疲労の患者に優れた効果を発揮した。

【0009】**【実施例－2】**

(図4)に示す位置に配置された複数の電極を3つの回路に別けて組み込んだ膝用ベルトを作成し、膝の関節裂隙にツボ電極を配した。15ボルト、1万ヘルツの高周波を15分間付加した。痛みが大いに軽減した。

【00010】**【実施例－3】**

(図5)に示す位置に配置された複数の電極を3つの回路に別けて組み込んだボディースーツを着用し、6ボルト、3ヘルツの低周波を長時間付加した。肩こり、腰痛、冷え性、便秘の予防・解消に優れた効果が認められた。

【00011】**【発明の効果】**

身体の各種疾患に対し、各疾患に関連した適正な複数の「ツボ」に同時に電気的及び押圧作用等複合さけた刺激を与える事により、優れた治療効果が得られた。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

ホック式電極の構成面図である。

【図2】

電極間の連結通電方式を示す構成図面である。

【図3】

ヘヤバンドタイプの構成図面である。

【図4】

膝用サポーター（連結電極通電方式）の構成図面である。

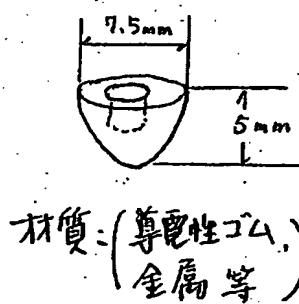
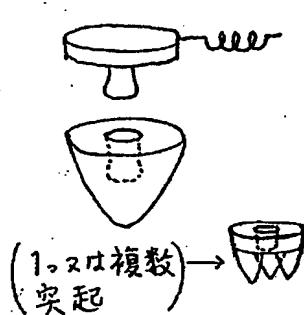
【図5】

電極組み込みボディスーツの構成図面である。

【書類名】 図面

【図1】

ホック式電極

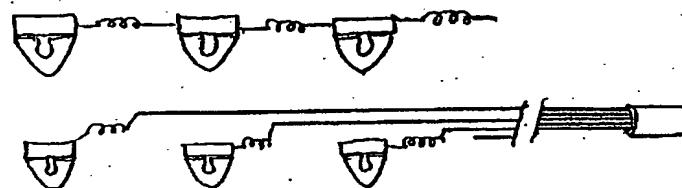


電極
形状：部端により
異なり。

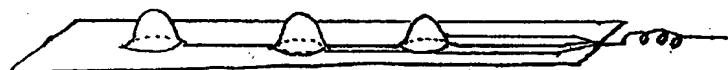
頻用
形状 (巾:3~10mm)
(高さ:3~7mm)

【図2】

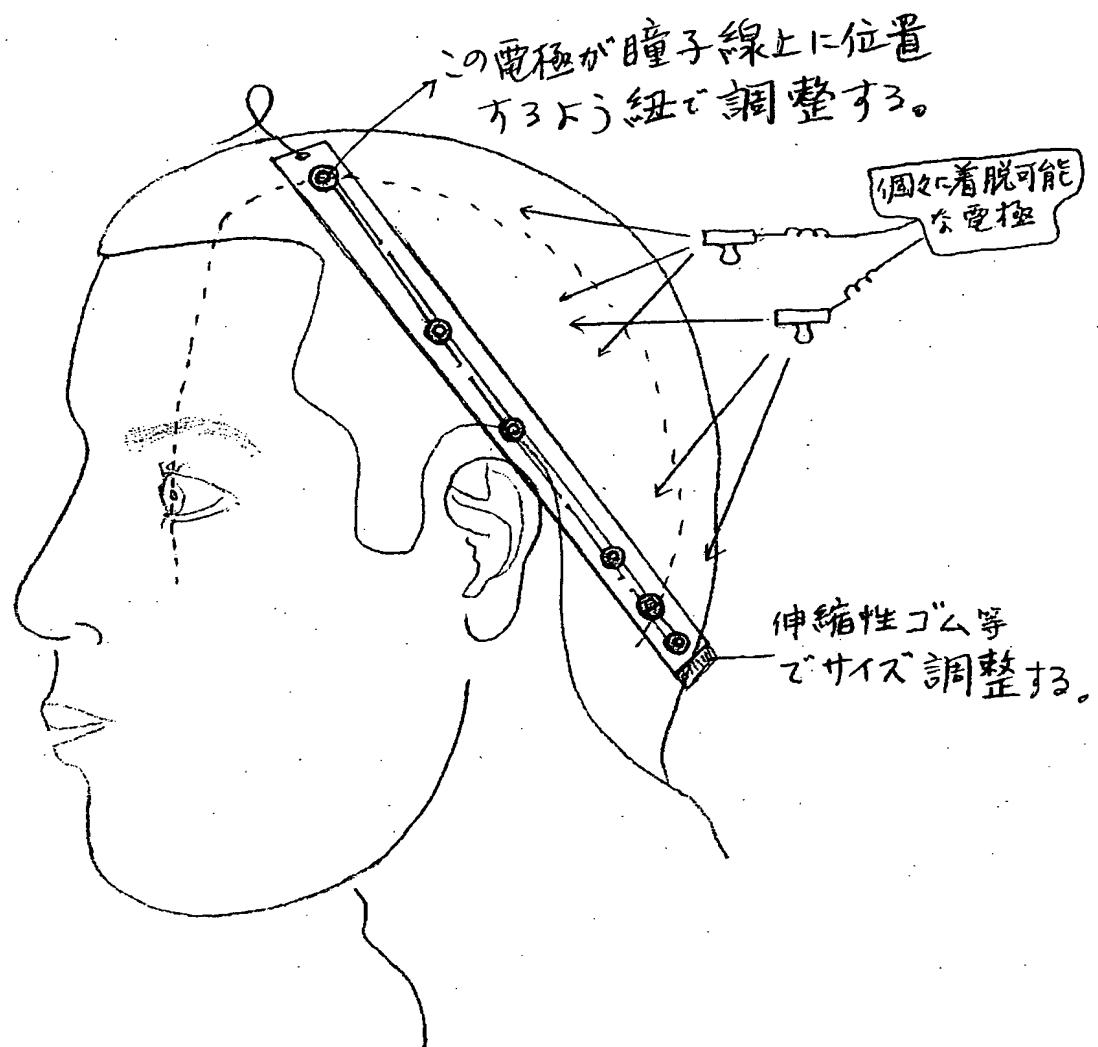
1. 連結電極通電方式 (図2-1)



2. 連結電極通電方式 (図2-2)

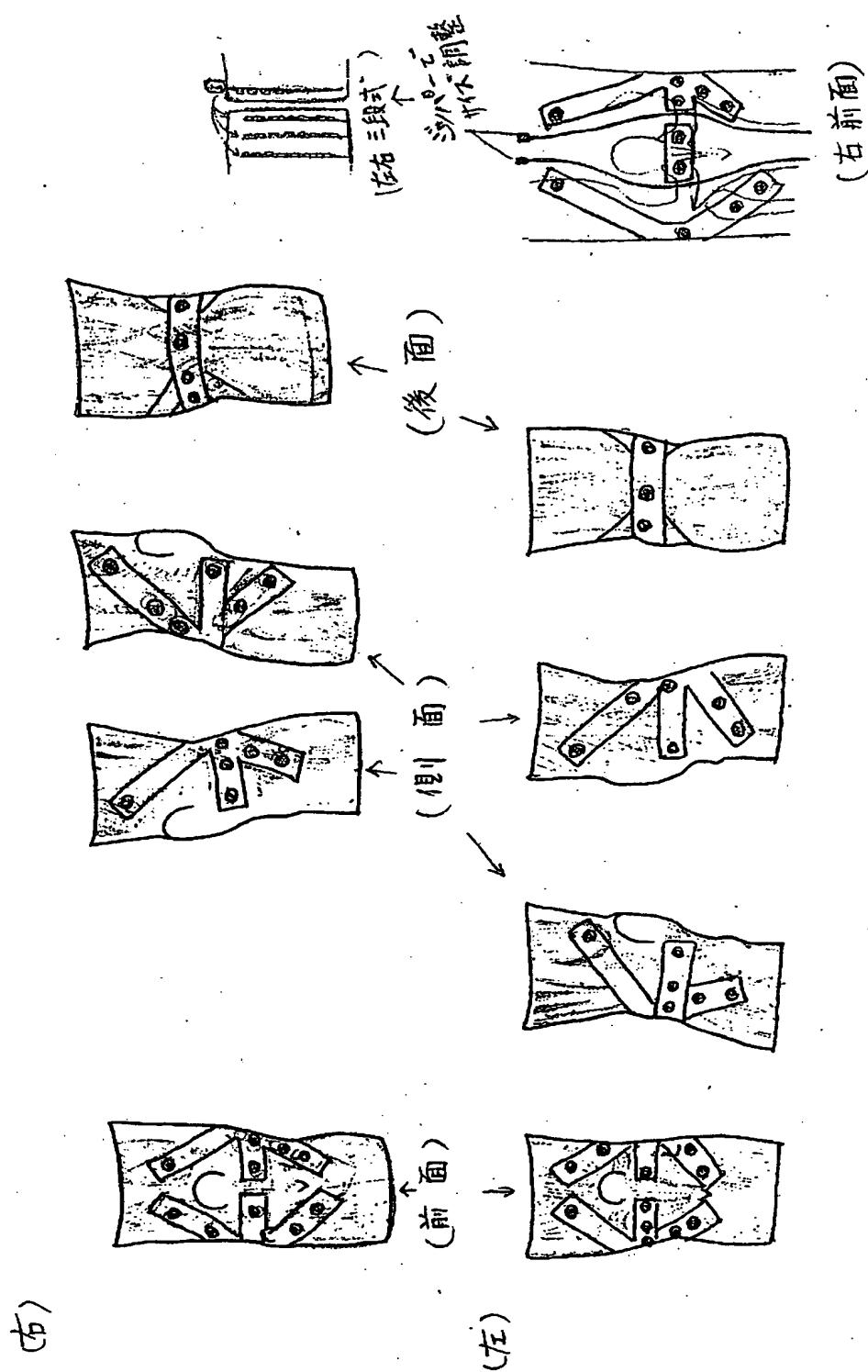


【図3】

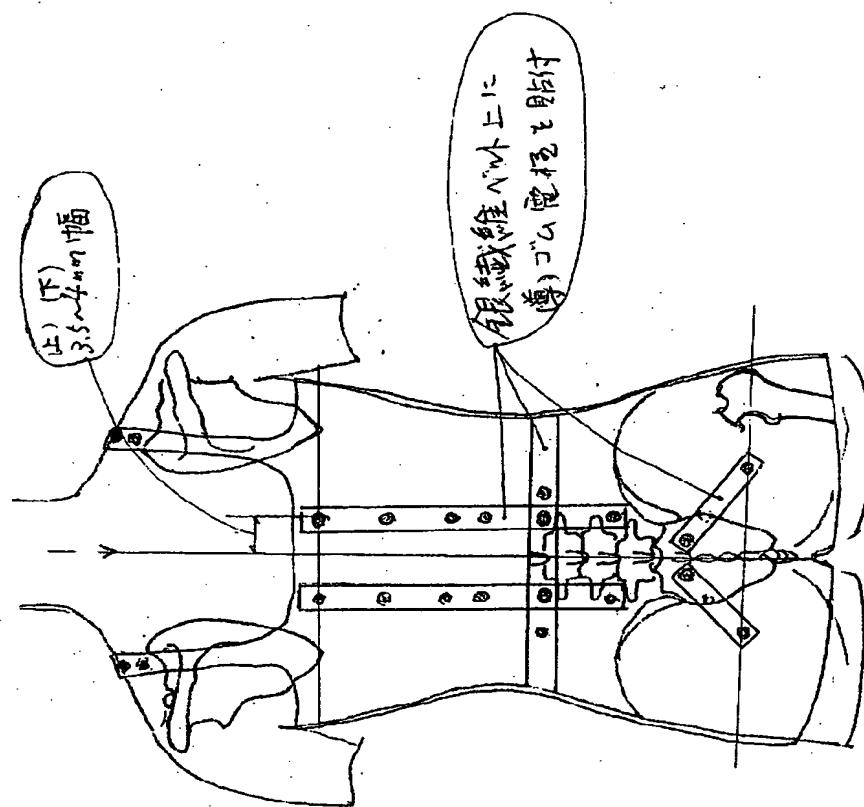


【図4】

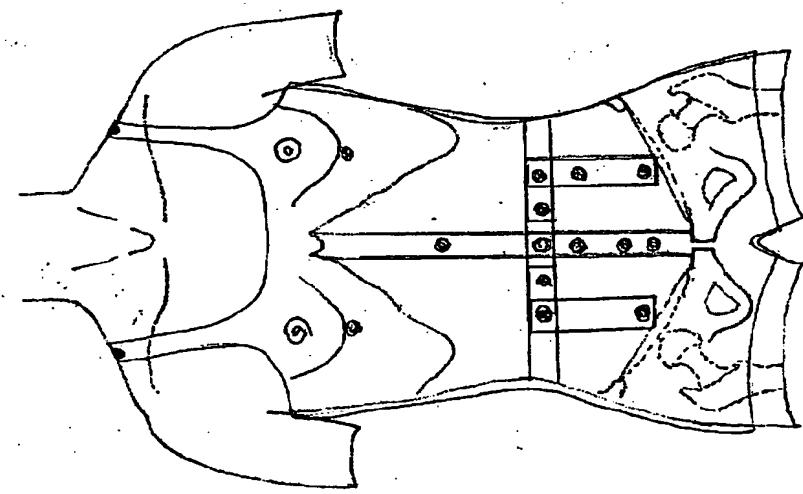
「用秦用ガガーター（連結電極通電方式）」



【図5】



ホルダー-スケーラー組込み電極



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 身体の各種疾患に対し、「ツボ」刺激による優れた治療機器の開発をする。

【解決手段】 身体の異常な症状の治療に際し、症状に関連した身体の広い範囲から選択された複数の「ツボ」に対し、同時に電気的及び機械的等複合された刺激を与える事の出来る治療用機器の使用。

【選択図】 なし

特願 2003-096556

出願人履歴情報

識別番号 [503122719]

1. 変更年月日 2003年 2月 24日
[変更理由] 新規登録
住 所 兵庫県西宮市高木西町 14-19
氏 名 中村 辰三
2. 変更年月日 2004年 4月 7日
[変更理由] 住所変更
住 所 兵庫県西宮市高木西町 17-20
氏 名 中村 辰三